

若杉輝久議員

公明党議員会



災害に対する備えとして
体育館への空調設備設置を

Q 災害時の避難所にもなる体育館へ空調設備を設置し、少しでも安心して避難所生活が送れる環境整備が必要ではないか。

A 本市の学校施設では、大地震等による長期避難の際に開設する避難所として、休閉校も含めて、小中学校17校の体育館が指定避難所となっています。しかし、災害発生時に避難所となる体育館については、いずれの施設も空調設備は整備されていません。大きな空間のある体育館等に空調設備を整備する場合、大規模な機器が必要になることや排熱等の周辺環境への配慮、また莫大な予算が必要となることなどから、全国的にも設置率は低くなっています。

今後は、厳しい財政状況の中、坂出市公共施設等総合管理計画のもとに、必要に応じて今後の施設のあり方も含めて、学校施設の長寿化計画等の長期的計画を策定する中で、調査研究していきたいと考えています。

(教育部長)

Net119緊急通報
システムの導入を

Q Net119緊急通報システムは、あらかじめ登録した方がインターネットを通じ、スマートフォン画面を数回タップするだけで救急車や消防車を呼ぶことができると、また、GPS機能で、本人の位置特定も可能であるため、障がいをもった方にも大きな安心となる。本市の導入についての考えは。

A 他市の導入状況は、高松市消防局は昨年度、丸亀市・善通寺市・多度津町で共同運用している通信指令センターでは今年度導入予定となっており、他5消防本部のうち3消防本部は来年度中の導入予定となっています。

今後のシステム導入に関しては、総務省消防庁から令和2年度を目標にシステムの導入を進めるように通知が出ていることもあり、すでに導入している他市での実績、導入経費等を参考にしながら、導入に向けて検討していきたいと思えます。

(消防長)

質問の項目
質主

・認知症事故賠償制度について
・マイナンバーカードの活用について

植條敬介議員
市民グループ未来の会



移住促進のための
取り組みは

Q 昨年度の本市への移住者数は、高松市に次いで多い232人と報道発表されていたが、さらなる移住促進のため、本市独自の取り組みが必要だと思われるが、どう考えているか。

A これまで、保育所保育料軽減措置をはじめとする子育て世代への支援、就職フェアなどの就労支援、新婚世帯への家賃補助や空き家改修に対する補助等の住居に関する支援等を実施してきました。

今後ともこれまでの取り組みを継続するとともに、各種支援策の発信に努め、移住希望者に本市の魅力をアピールしていきたいと考えています。

(総務部長)

潜在保育士に対する
就職支援事業は

Q 厚生労働省の発表によると潜在保育士は全国で約76万人もおり、香川県は昨年より香川県潜在保育士等支援事業を推進しているが、本市はどういった取り組みを行っているのか。

A 本市においては、これまで就職セミナーへの職員派遣など、保育士確保に努めてきましたが、待機児童を解消するに至っていない現状にあります。

香川県においては、昨年度から未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付や就職準備金の貸付などの事業を開始しています。

本市においてもこのような制度の活用を積極的に周知していくとともに、他市町の状況も見ながら、新たな保育士の確保に向けて検討していきたいと考えています。

(健康福祉部長)

質問の項目
質主

・公共施設等総合管理計画について
・外国人就労者の受け入れ拡大について
・友好交流都市について